

◆ 今週のコメント

【麻しんの発生件数の把握について】

京都市においては、従来の指定医療機関からの定点報告に加え、発生件数の把握のために、市内全医療機関からの全件把握を図ることになりました。つきましては、麻しん患者(年齢に関係なく)を診断された場合には、医療機関所在地を管轄する保健所あてに全数報告をしていただくよう、ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.12で、過去5年平均値(0.71)を上回っています。年齢階級別にみると、5歳(17.39%)が最も多くなっています。行政区別にみると、中京区、西京区で多くなっています。
- ・ 百日咳の報告が先週に続き2例(ともに2歳)あります。本年の累積報告数は17例で、過去7年間(平成12年～平成18年)の同時期(3～11例)と比べて最も多くなっています。
- ・ 風しんの報告は1例(男、2歳)です。本年の累積報告数は6例です。
- ・ アメーバ赤痢の報告は1例です。本年の累積報告数は9例で、過去7年間(平成12年～平成18年)の同時期(1～6例)と比べて最も多くなっています。病型別にみると、腸管アメーバ症8例(女2例、男6例)、腸管外アメーバ症1例(男)です。また、推定感染経路は、経口3例、不明6例ですが、平成18年(17例)は、経口5例、不明3例、性行為9例で、平成16年以降、性行為感染が増加しています。

◆ 今週のトピックス:〈麻しん, 成人麻しん〉

- ・ 麻しん, 成人麻しんともに、埼玉県などの関東圏を中心に各地に流行がみられ、関西圏においても集団発生がみられています。詳細はトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

(性, 年齢, 症状, 推定感染地域, 推定感染経路の順に掲載。ただし, 結核は除く。)

- ・ 二類: 結核 12例(肺結核 10例, その他 2例)(第14・16・18週追加分含む)
- ・ 五類: アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例
- ・ 五類: クロイツフェルト・ヤコブ病(孤発性) 1例
- ・ 五類: 後天性免疫不全症候群(その他) 1例

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.04	3
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.54	227
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.12	46
	② 水痘	1.12	46
	④ 突発性発しん	0.37	15
	⑤ 伝染性紅斑	0.29	12
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

病原体情報

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)
ポリオウイルス1型(1)	感染性胃腸炎(第17週)	A群ロタウイルス(2)	その他のけいれん(第19週), 感染性胃腸炎(第20週)
インフルエンザウイルスAH1型(2)	かぜ症候群(第19週), 不明(第19週)	ノロウイルスGII型(1)	感染性胃腸炎(第19週)

【次ページ以降の主な内容】

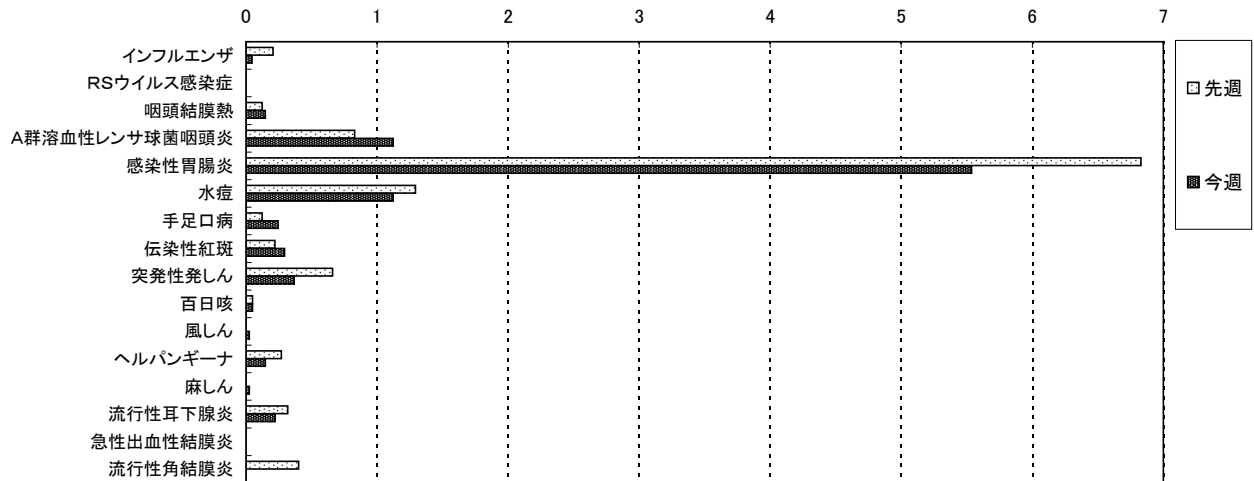
発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:〈麻しん, 成人麻しん〉

付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

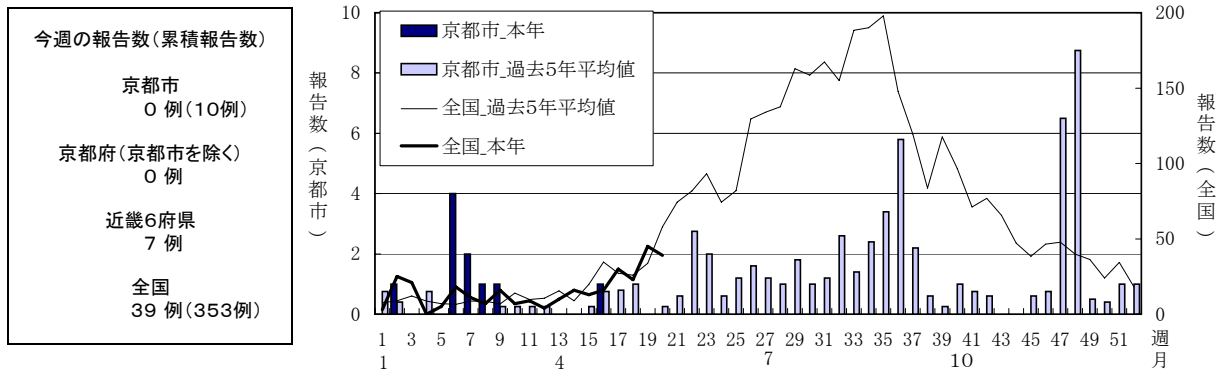
(注)京都市のデータは平成19年5月28日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。病原体情報は病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第20週)と先週(第19週)の定点当たり報告数の比較

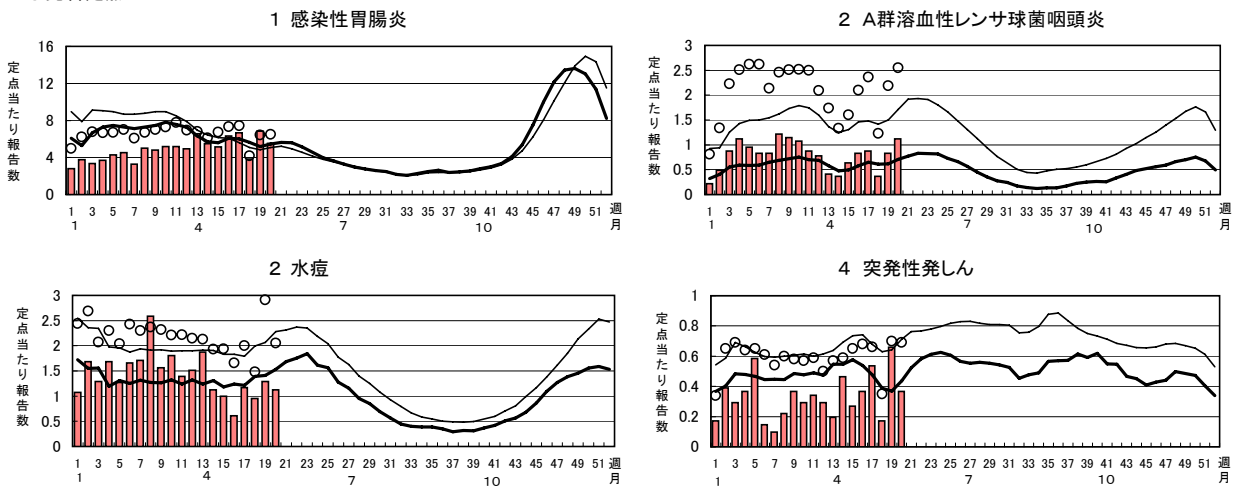


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の報告数の推移

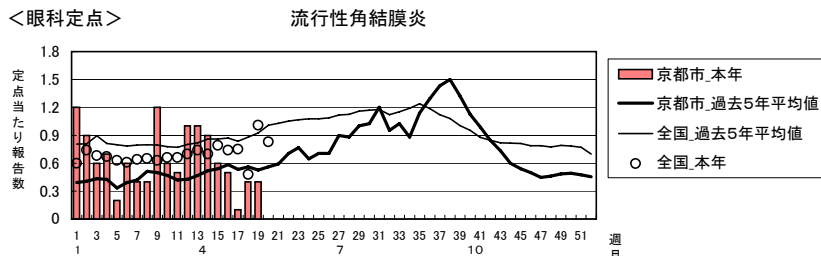


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



第20週のトピックス:〈麻疹, 成人麻疹〉

麻疹の報告が、第20週に1例(女, 10~14歳)あり、本年の累積報告数は3例となっています。全国では、埼玉県などの関東圏を中心に各地に流行がみられ、関西圏においても集団発生がみられます。

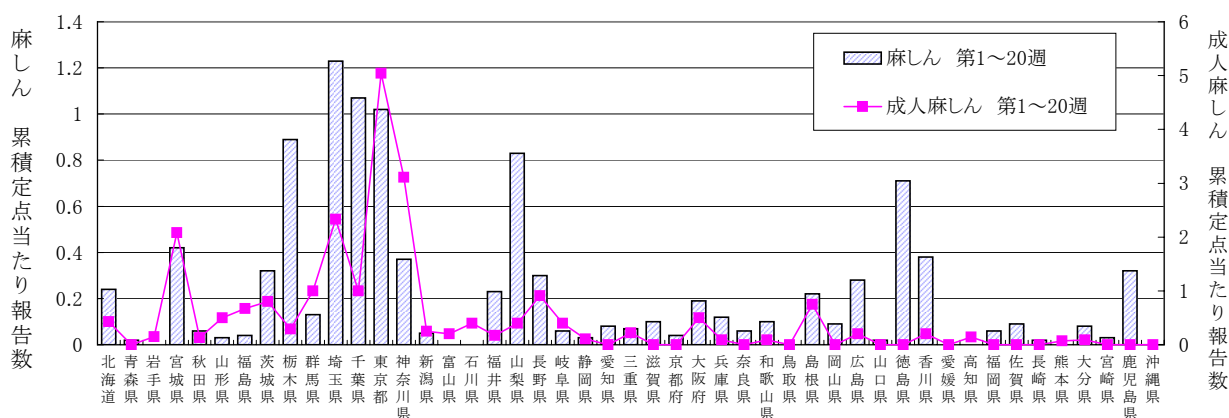
また、15歳以上が対象の成人麻疹については、平成12年の1例、13年の3例以降、定点からの報告はありません。全国では、関東地方を中心に各地に報告があります。

麻疹の累積定点当たり報告数を年齢群別にみると、0歳、3歳、10~14歳で各1例ずつです。全国では、10~14歳での報告が最も多く、次いで、0歳、1歳の順となっています。また、8~9歳以上の年長者及び0歳で、すでに昨年の年報告数を超えています。

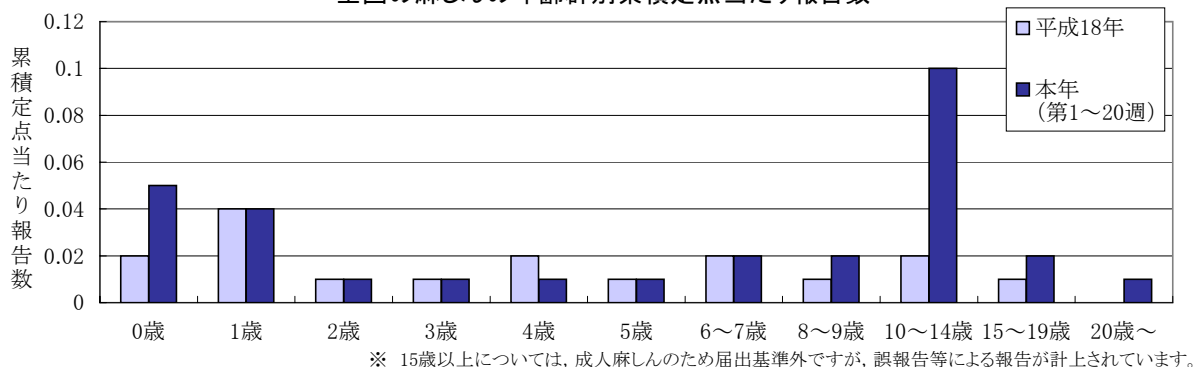
全国での成人麻疹の累積報告数を年齢階級別にみると、20~24歳で最も多く、15~29歳で約8割を占めています。

集団感染の予防には、事前の対策が必要です。詳細については、国立感染症情報センターホームページ「医療機関での麻疹の対応について」、 「保育園・幼稚園・学校等での麻疹患者発生時の対応マニュアル」(<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html>)等をご参照ください。

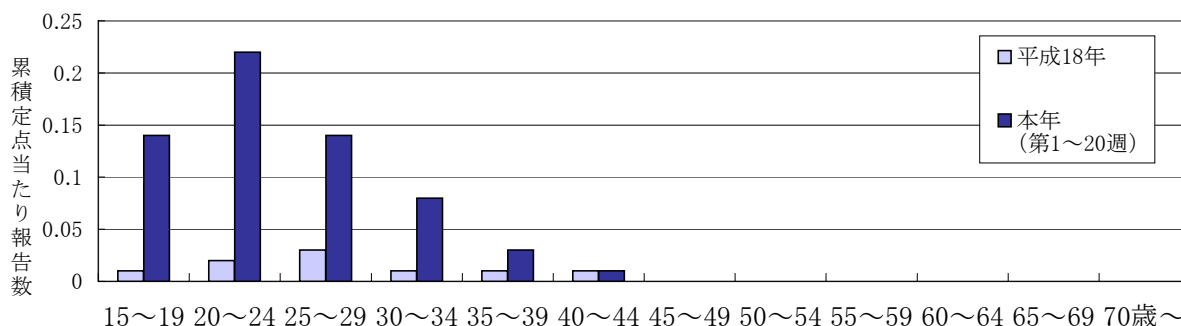
都道府県別麻疹, 成人麻疹累積報告状況(本年第1週~20週)



全国の麻疹の年齢群別累積定点当たり報告数



全国の成人麻疹の年齢階級別累積定点当たり報告数



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第20週

疾病,保健所別報告数

平成19年5月14日～平成19年5月20日

データ入手日:平成19年5月28日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん
男女合計																					
北	1	-	-	-	14	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	5	5	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	17	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	11	21	4	-	2	3	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	35	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	4	10	2	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	1	-	-	5	31	9	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	23	5	1	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	5	3	15	9	5	1	4	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
西京	1	-	1	18	56	10	3	7	1	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	3	-	6	46	227	46	10	12	15	2	1	6	1	9	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん
男女合計																					
北	0.14	-	-	-	3.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	1.67	1.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	4.25	0.75	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	3.67	7.00	1.33	-	0.67	1.00	-	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	17.50	-	-	-	1.00	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	1.00	2.50	0.50	0.25	0.25	0.25	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	0.20	-	-	1.67	10.33	3.00	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	4.60	1.00	0.20	-	0.40	-	-	-	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.71	0.43	2.14	1.29	0.71	0.14	0.57	0.29	0.14	-	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-
西京	0.14	-	0.25	4.50	14.00	2.50	0.75	1.75	0.25	-	-	1.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.04	-	0.15	1.12	5.54	1.12	0.24	0.29	0.37	0.05	0.02	0.15	0.02	0.22	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第20週

年齢階級, 疾病別報告数

平成19年5月14日～平成19年5月20日

データ入手日:平成19年5月28日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		6	-	-	2	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		46	-	1	5	1	3	5	8	5	5	3	4	2	-	4	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		227	5	14	26	33	27	16	19	15	11	7	8	21	5	20	-	-	-	-	-	-
水痘		46	-	3	10	7	4	5	3	4	3	4	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		10	-	-	1	4	1	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	12	-	-	-	-	1	-	5	1	-	1	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		15	-	7	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		6	-	-	4	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		9	-	-	-	-	1	2	1	2	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	0.01	-	-	-	-	-	0.01
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.15	-	-	0.05	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.12	-	0.02	0.12	0.02	0.07	0.12	0.20	0.12	0.12	0.07	0.10	0.05	-	0.10	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.54	0.12	0.34	0.63	0.80	0.66	0.39	0.46	0.37	0.27	0.17	0.20	0.51	0.12	0.49	-	-	-	-	-	-
水痘		1.12	-	0.07	0.24	0.17	0.10	0.12	0.07	0.10	0.07	0.10	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.24	-	-	0.02	0.10	0.02	0.05	-	-	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.29	-	-	-	-	0.02	-	0.12	0.02	-	0.02	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.37	-	0.17	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		0.05	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.15	-	-	0.10	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.22	-	-	-	-	0.02	0.05	0.02	0.05	-	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第20週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年5月28日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	172	123	93	28	14	3
RSウイルス感染症	-	1	-	-	-	-
咽頭結膜熱	5	3	3	6	5	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	34	36	15	34	46
感染性胃腸炎	211	259	274	157	280	227
水痘	41	25	48	39	53	46
手足口病	5	5	5	3	5	10
伝染性紅斑	20	5	7	7	9	12
突発性発しん	11	15	22	7	27	15
百日咳	-	3	2	-	2	2
風しん	1	-	-	-	-	1
ヘルパンギーナ	1	1	1	2	11	6
麻しん (※)	-	-	1	1	-	1
流行性耳下腺炎	14	9	1	8	13	9
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	5	1	4	4	-
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	513	488	494	277	457	384

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	2.53	1.81	1.37	0.41	0.21	0.04
RSウイルス感染症	-	0.02	-	-	-	-
咽頭結膜熱	0.12	0.07	0.07	0.15	0.12	0.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.63	0.83	0.88	0.37	0.83	1.12
感染性胃腸炎	5.15	6.32	6.68	3.83	6.83	5.54
水痘	1.00	0.61	1.17	0.95	1.29	1.12
手足口病	0.12	0.12	0.12	0.07	0.12	0.24
伝染性紅斑	0.49	0.12	0.17	0.17	0.22	0.29
突発性発しん	0.27	0.37	0.54	0.17	0.66	0.37
百日咳	-	0.07	0.05	-	0.05	0.05
風しん	0.02	-	-	-	-	0.02
ヘルパンギーナ	0.02	0.02	0.02	0.05	0.27	0.15
麻しん (※)	-	-	0.02	0.02	-	0.02
流行性耳下腺炎	0.34	0.22	0.02	0.20	0.32	0.22
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.60	0.50	0.10	0.40	0.40	-
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	11.30	11.09	11.22	6.79	11.31	9.34

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。